

おもな内容

1. 冬の交通事故防止運動 (1P)
2. 除雪 (2P)
3. 亀田・横越柔剣道大会開く (3P)
4. 新入学児童の健康診断 (3P)
5. 心づくり、体力づくり大会 (3P)
6. 文化祭 (4P)
7. 親善俳句大会開く (4P)



盆栽シリーズ ⑩ くろまつ (横越 (川根谷内) 風間謙平氏所有)

冬の道いそがずあわてず ゆっくりと

冬の交通事故防止運動

十二月十二日・二十日



(1) 飲酒運転の遺放
 これから年末の忘年会や、年始などで酒を飲む機会が多くなりますが、車を運転する人は絶対飲まない、又まわりがまをもち、家庭でも、飲酒運転の防止会いをもちましょう。そして職場においては酒類の提供、あがり酒等の酒類をなくし飲酒運転遺放につとめて下さい。
 まったく同僚による余地もないこの飲酒運転による事故は家庭や職場を破壊し、一生を取り返しのつかないものにするのを、私たちが忘れてはなりません。

(2) スリッパ事故防止
 この季節になりますと路面の凍結によるスリッパ事故が多くなります。ふだん通っている道でも、冬の道は大変危険なことがたくさんあります。特に、朝夕の通勤路上の路面は凍結がひどく、こんな場合、スノータイヤにタイヤチェーンの装着をかならずして下さい。又こんな時の運転の心がまよとして速度を落とし、車間距離をあげ、急発進、急ブレーキ、急ハンドルをきけいそがずゆっくり走りましょう。そしてシートベルトの着用を必ずして下さい。

県内交通事故発生状況 (11月16日現在)

区分	53年	54年	増減数
発生件数	7,056	7,007	-49
死者数	208	193	-15
傷者数	8,894	8,523	-371

除夜の鐘を聞くまでもと一月たり。知らず知らずのうちに折ってしまっている。時のたつのはまことに早いもので、今年も又多くの出来事に携わっている。いつの間にか年の暮だ。いつも思ふ春なのだが、十二月三十一日と翌一月一日の間には時間的だれれ程の差があるのだろうか？ 犬や猫は何も感せずとも変わりがない。だが、人は一秒が過ぎるか過ぎないかで後悔まで異なる。故に安全な事ではないだろうか、我々にとつて一秒がどういふものではない人間は精神生活を送る生き物であるから瞬間の移り変わりの中に、フツと停つたのではないだろうか、そして、そのフツを強めて古い年が暮れ新しい年が明けると我々は気分まで新しくなるのだ。人間ならのでの新しい事だと思ふところ、古い年から新しい年に移り変わる間、日本では除夜の鐘を聞きながらすすす。この、除夜の鐘とは人間の百八つの原動力を取り去ると云ふ意味を百八回響かせるのだ。人といふものは、どんなに善良で幸福そうに見えても身心を磨き直す必要もつていふのではないだろうか。目を閉じ、過ぎた一年間の事を振り返ってみると、いろいろな出来事が走馬灯のように脳の中を駆け巡る。心を洗ぬ、何も考えずに車を運転すると、鐘の音がこころの奥まで響き、自分一人の悩みなどがねにも見えない事であると悟る。たった日付けが一日変わるだけで、時間が一秒過ぎるだけで、人は心は洗滌して、白い純心で明日に向ふのである。昔々懐かしくって八〇年代こそ、良いお年を過ごせられます。心から祈りしてやみます。(山崎)